

**日本骨髄バンクの現状（2003年3月末）詳細は別添一覧を参照下さい。**

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,076	1,731	168,413	210,589
患者登録者数	132	142	2,070	14,053
骨髄移植例数	61	52	-	4,752

注）数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

**① 第24回通常理事会、評議員会ならびに新理事による臨時理事会を開催**

去る3月28日（金）、第24回通常理事会、通常評議員会が当財団のある廣瀬第二ビル（千代田区神田錦町3-19）3階会議室において公開で開催され、「任期满了に伴う理事、監事、評議員の選任について」「本年度の収支補正予算案について」及び「次年度の事業計画案、収支予算案について」などが審議され原案どおり承認されました。また、新理事が選任されたことを受け、4月10日（木）、臨時理事会が同会場にて開催され、理事長、副理事長、常務理事および常任理事が互選により選出されました。本年度は委員会体制の見直しにより、企画管理委員会、コーディネート委員会を廃止し、執行機関として新たに常任理事会が設置されました。今期の理事長は高久史麿、副理事長には斉藤英彦、事務局には常務理事兼事務局長として大石源誌が就任しました。なお、第1回常任理事会は、4月26日（土）14時30分から廣瀬第二ビル会議室にて開催予定です。

**② 2002年度、移植実施例が初めて前年割れ。今年度は再び増加の見込み。**

昨年度の日本骨髄バンクを介する非血縁者間骨髄移植は739例（前年度749例、1.3%減）で、設立後初めて前年割れとなりました。（海外のドナーから国内の患者への骨髄移植15例、国内のドナーから海外の患者への移植26例を含む）累計では4752例に達しています。移植数減少の要因は、1）慢性骨髄性白血病では新治療薬（分子標的治療薬・商品名グリベッグ）の登場により、移植しないで薬の効果を様子見する傾向が続いていること、2）さい帯血の成人への移植適応が拡大され、さい帯血移植を選択するケースが増加していること、3）母子間移植の増加などが考えられます。今年度は、中高年齢者へのミニ移植などの動向により、年度途中から増加傾向に戻るとの予測があり、財団としてもさらなるコーディネートの迅速化に取組、移植件数の増加を見込んでいます。

### 3 3月のドナー登録会報告。昨年度のドナー登録者は2万2753人。

3月のドナー登録者数は1731人で、取消者数は611人、実質増加数は1120人という実績でした。登録会は63回実施され(うち献血併行型53回)、合計625人の方にご登録をいただきました。イラク戦争の影響で公共広告機構の骨髄バンクコマーシャルが増え、問合せの電話は多かったものの、登録者数は前年同月の68.3%と大きく下回り、過去3カ月続いた月間2000人の登録者を割り込んでしまいました。都道府県別の登録会開催数は、東京7回、石川6回、福島、兵庫5回、沖縄4回、新潟、愛知3回、北海道、秋田、茨城、千葉、静岡、大阪、和歌山、広島、徳島、長崎2回、山形、埼玉、岐阜、京都、奈良、島根、山口、福岡、佐賀、鹿児島が1回でした。また、昨年度の新規ドナー登録者数は2万2753人(前年度2万4211人、6.0%減)で、1458人の減少という残念な結果に終わりました。これは、登録会開催が各地で軌道に乗りはじめ、回数では献血併行型が前年度より320回増の831回、集団登録会は203回と順調に推移しましたが、一回あたりの登録者数が、献血併行では8.9人(前年11.5人)、集団登録18.9人(前年22.5人)と減り、固定窓口での登録数も1万1527人(前年1万3511人、14.7%減)と減少したことが要因としてあげられます。本年度から事前の説明会を行い、献血会場で登録ができる方式が採用され、登録の間口が一段と広がります。さらなる皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 4 重症急性呼吸器症候群(SARS)の対応について

原因不明の重症急性呼吸器症候群に対する対応について、当財団では厚生労働省からの通達に基づき、骨髄提供予定者に対し提供直前の海外渡航の自粛を呼びかけ、採取前健診の問診を実施することといたしました。また、コーディネート中のドナーの方には、海外渡航予定を伺うなどの対応を実施します。海外ドナーからの提供については、厚生労働省からのSARS感染危険回避の制限が設けられていないため、通常どおり米国、台湾、韓国とコーディネートを実施いたします。コーディネートには万全を期しておりますが、骨髄提供予定者の渡航予定や、発症の疑いがあった場合には、適格性の再確認を実施するため、移植日程の再調整や当該ドナーのコーディネートの中止もありえます。こうした対応は今後の情勢によって、適宜変更されることをご承知お願います。

## 5 認定施設診療科別の生存状況をホームページで公開。

これから非血縁者間骨髄移植を希望される患者様やそのご家族が移植施設をお選びになるための情報（所在地、設備、チーム構成、移植実績、成績など）を、それぞれの施設からの申告に基づき、ホームページ上でご覧いただけるようになりました。患者様やそのご家族にとって有意義な情報となるばかりでなく、今後の医療向上の第一歩となることを期待しています。当財団ホームページ、患者問合せ窓口からご覧いただけます。[http://www.jmdp.or.jp/patient/nintei\\_new.htm](http://www.jmdp.or.jp/patient/nintei_new.htm)

## 6 地区普及広報委員、説明員の研修会を各地で開催します。

本年度も地区普及広報委員・説明員合同研修会を5月から7月にかけて新潟を皮切りに大阪、福岡、仙台、東京、札幌、名古屋で開催いたします。本年度より実施が開始される全国献血会場骨髄ドナー登録推進（事前説明会后献血会場での登録方式）の説明をはじめ普及啓発全般から最新情報を交換する場として企画しております。

## 7 骨髄バンク支援イベント各地でぞくぞく。

(1) 3月22日、セレッソ大阪の開幕戦（長居スタジアム）で、骨髄バンクニュースでもご紹介したドナーを待っている中井耀君とお母様の麻里さんが、骨髄バンクへの協力を訴え、サポーターの感動を呼び起こしました。(2) 4月4日～7日、東京国際フォーラムにおいて第8回「国際コンテンツポラリーアートフェスティバル」(NICAF)が開催されました。このアジア最大の現代アートフェスティバルは2年に一度開催されていますが、前回に引き続き、主催者から会場スペースをご提供いただき「あやちゃんの贈り物展」出展しました。来場者は若者を中心に10万人を超え、骨髄バンクをアピールするよい機会となりました。(3) ロングランの舞台「友情」が大阪松竹座で5月2日～25日まで公演されます。今年も各地に感動の輪を広げます。各地のボランティアの皆様には、またご協力をお願いいたします。(4) 川崎市では、5月11日(日)麻生市民館ホールと7月4日(金)多摩市民館ホールにおいて、「ジャッキー吉川とブルーコメッツ」が、骨髄バンクとがんの子供を守る会を支援するチャリティーコンサートを開催します。5月公演のご招待をいただいておりますので、ご希望の方は広報渉外部までお申し込みください。(5) 昨年2月に放送されたNHKの人気番組「プロジェクトX」- 日本初の骨髄バンク - がコミック版として5月中旬に出版されます。テレビの感動を上回る作品に仕上がったと編集者は話されています。啓発活動にも有効に活用できる作品として期待されます。発行：宙（おおぞら）出版

## 8 骨髄バンク・NICOSカード、入会申し込み書が新しくなりました

骨髄バンクNICOSカード、NICOS VISAカードは、日本信販株式会社より平成11年から発行されています。カードご利用金額の0.5%が当財団へのご寄付となるものですが、年会費から3千円、1万円が骨髄バンクへ自動的に寄付される会員制度も選択できます。このたび、入会申込書が新しくなりました。お問合せ、申込書のご請求は、財団広報渉外部までお願いします。

## 国際協力事業の状況(1997年4月～2003年3月末)、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	予備検索622件 適合433件 登録335件 移植92件
米国 日本	予備照会1262件 適合142件 登録222件 骨髄提供2件
日本 台湾	予備検索461件 適合102件 登録148件 移植18件
台湾 日本	予備照会1件 適合0件 正式登録2件 骨髄提供0件
日本 韓国	適合41件 正式登録183件 移植11件
韓国 日本	適合282件 正式登録653件 骨髄提供71件
その他の国 日本	正式登録302件 提供累計11件

## お知らせ

- (1)骨髄バンクを介して2回提供された方は88人です。
- (2)DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数は54件です